

# 東海経済レポート

## （2016 年 8 月）

～企業・家計部門ともに一進一退の状態、全体としては略横這い～

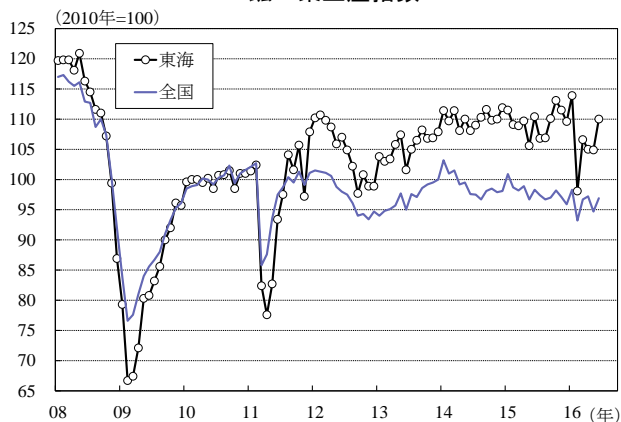
### 【足元の経済情勢と当面の見通し】

- ◇ 東海経済は企業部門と家計部門がともに一進一退の推移で、総じて横這いの状況。企業部門は、生産が一過性の要因（熊本地震による生産停止等）に伴う減速から持ち直しに転じたものの、設備投資や輸出は円高の影響等もあって足踏みが見られる。家計部門は、雇用環境は引き締まった状況にあるものの、個人消費には一部弱さが残る。
- ▶ 生産は、6月の鉱工業生産指数が前月比+4.9%と3ヵ月ぶりに上昇。業種別にみると、主力の輸送機械が同+6.0%と2ヵ月連続の増加となり、2月以降の相次ぐ一過性要因での生産停止分の挽回生産が本格化している。電子部品・デバイス、電気機械も増加に転じ、生産全体の持ち直しに寄与した。
  - ▶ 設備投資は、その先行指標とされる金属工作機械の6月の国内受注額が前年比▲18.6%と9ヵ月連続で減少。最大の受注先である一般機械工業からの受注が3ヵ月連続の前年割れとなったうえ、自動車工業からの受注も5ヵ月連続で減少するなど、受注の約8割を占める業種からの発注が低迷している。
  - ▶ 輸出額（円ベース）は、7月に前月比▲7.4%と2ヵ月ぶりに減少。EU向けが同▲10.6%、アジア向けが同▲7.2%、中東向けが同▲20.6%と、主要地域向けがいずれも減少。品目別でも、自動車が同▲7.3%と3ヵ月ぶりに減少したほか、一般機械が同▲7.1%、自動車部品が同▲6.6%と、軒並み減少となった。
  - ▶ 雇用は、需給の引き締まった状況が継続。6月の有効求人倍率は、愛知県が1.61倍、岐阜県が1.73倍と、いずれも4ヵ月ぶりに低下。一方、三重県は1.42倍と3ヵ月連続で上昇。水準としては、3県ともリーマン・ショック後の最高レベルで推移中。
  - ▶ 個人消費は、6月の小売主要3業態の販売が前年比+1.2%と、2ヵ月ぶりにプラスへ転じた。百貨店は6ヵ月連続で前年割れとなったものの、堅調なコンビニに加え、スーパーの販売額も前年比増加となり、全体でもプラスとなった。一方、6月の新車販売台数は同▲6.9%と、2ヵ月連続の減少となった。
  - ▶ 住宅着工は、6月に年率換算で8.3万戸、前月比▲0.6%。利用関係別では、貸家と分譲が減少となった。

### 【生産①】

6月の鉱工業生産指数は前月比+4.9%と3ヵ月ぶりに上昇。持ち直しの動きが見られる。

鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【生産②】

業種別では、ウェイトの大きい輸送機械が前月比+6.0%と2ヵ月連続で増加し、全体を牽引。

業種別の鉱工業生産(東海)



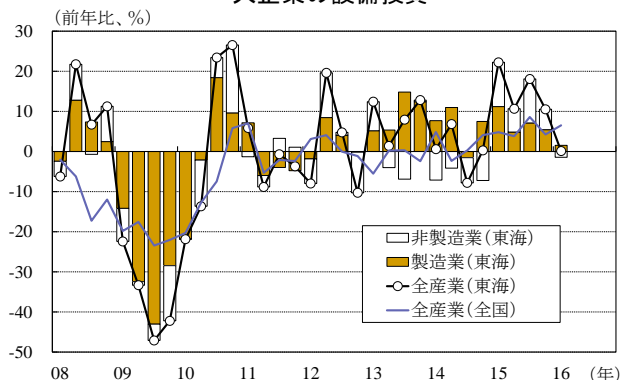
(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
2. ( )内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(H22年基準)。中部経済産業局算出

(資料)中部経済産業局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【設備投資】

1-3月期の大企業の設備投資は、前年比+0.1%とプラス幅が大きく縮小。

大企業の設備投資

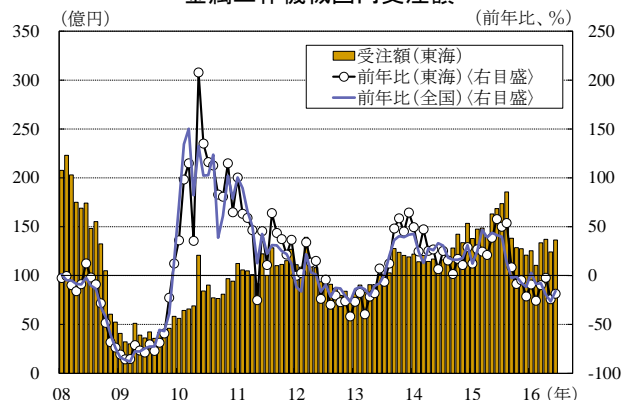


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。  
2. 資本金10億円以上の企業を対象。  
3. 設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。  
(資料)東海財務局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額は6月に前年比▲18.6%と、9ヵ月連続でマイナス。

金属工作機械国内受注額

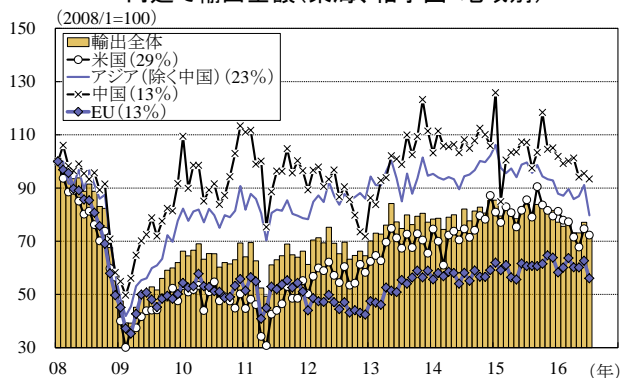


(注)1. 東海は中部経済産業局管内の主要8社。  
2. 『受注額』は当室にて季節調整。  
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【輸出】

7月の輸出額(円ベース)は、前月比▲7.4%と2ヵ月ぶりにマイナス転化。多くの地域向けが減少。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

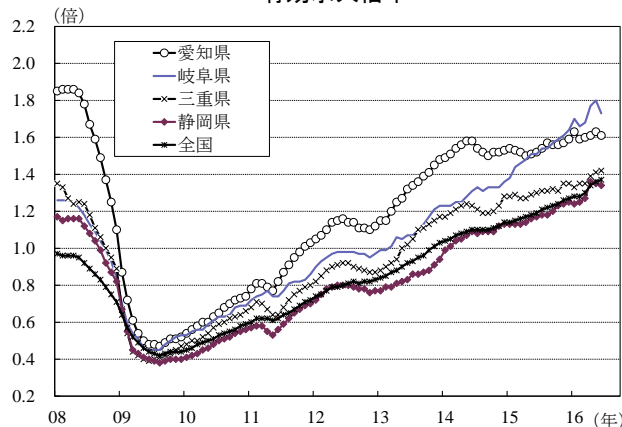


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。  
2. 当室にて季節調整。  
3. ( )内の数値は2015年輸出総額に占めるシェア。  
(資料)名古屋税関統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

### 【雇用】

6月の有効求人倍率は愛知県で1.61倍、岐阜県は1.73倍と低下した一方、三重県は1.42倍と上昇。

有効求人倍率

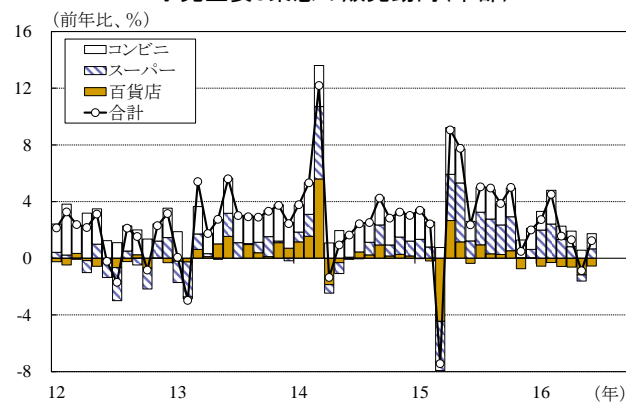


(注)『有効求人倍率』は、「有効求人数」を「有効求職者数」で除したものの。  
(資料)厚生労働省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【個人消費】

6月の小売主要3業態の販売は前年比+1.2%と2ヵ月ぶりにプラスへ転じた。スーパーがプラスに復調。

小売主要3業態の販売動向(中部)

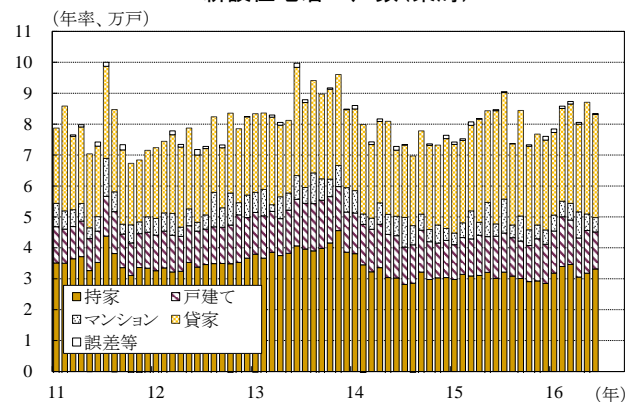


(注)1.『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。  
2. 当室にて季節調整。  
(資料) 中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【住宅投資】

6月の住宅着工戸数は年率換算で8.3万戸、前月比▲0.6%。持ち直しの動きはいったん足踏み。

新設住宅着工戸数(東海)

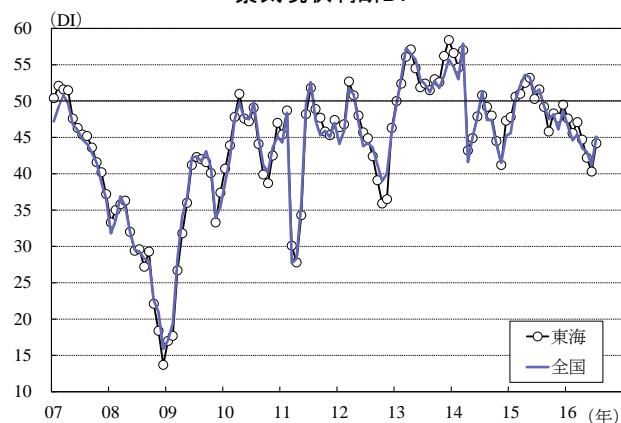


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。  
2. 当室にて季節調整。  
(資料) 国土交通省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【景気ウォッチャー調査】

7月の景気現状判断DIは44.2と、12ヵ月連続で50.0を下回るも、4ヵ月ぶりに上昇。

景気現状判断DI

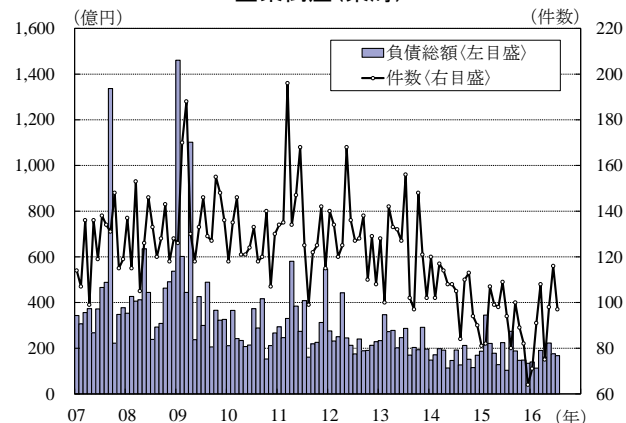


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。  
(資料) 内閣府資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【倒産件数】

7月の企業倒産件数は97件と、前年比+3.2%の増加。負債総額も同+61.7%の増加。

企業倒産(東海)

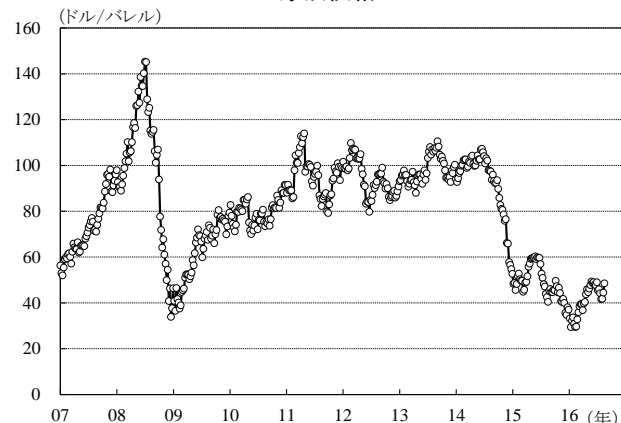


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。  
(資料) 東京商工リサーチ資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【原油価格】

WTI先物は、9月のOPEC非公式会合での生産調整の進展期待等から、1バレル48ドル前後まで上昇。

原油価格

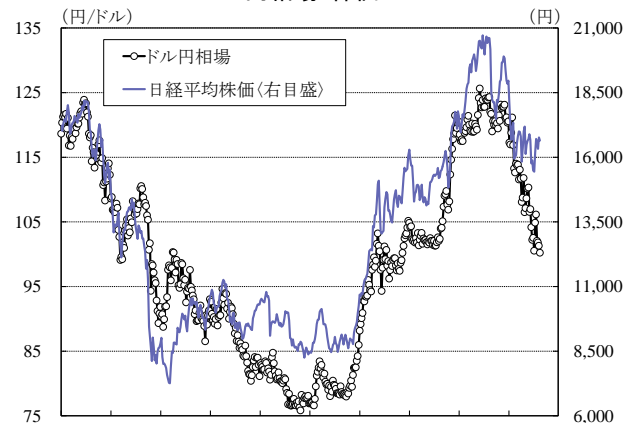


(注)『原油価格』はWTI先物。  
(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

## 【円相場・株価】

米国の追加利上げ観測の後退等から、円相場は円高基調で推移。業績下押し要因として、株価にも影響。

円相場・株価



(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱東京 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko\_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。